

東伴子氏

グルノーブル・アルプ大学外国語学部日本語科-Lidilem 准教授



グルノーブル・アルプ大学准教授、日本語科責任者。グルノーブル第三大
学にて言語学修士号、博士号取得（1986）。フランスの大学で30年
以上教鞭を取り、フランス語母語学習者を対象に言語コミュニケーション
能力を重視する日本語教育を研究・実践。「CEFR B1レベルの言語活
動・能力を考えるプロジェクト」（ルーヴァン・グルノーブル）、「AJE-CEFR
プロジェクト-評価基準」などにも取り組む。近年はCEFR準拠日本語オン
ラインテスト開発（Innovalangues, ANR, IDEFI 研究費）に従事
（2015～2019）。長年バカロレア採点者を務める。

研究分野 / Research Interests

相互行為・談話分析、異文化間語用論、日本語教育

主要業績

- 相互行為のメカニズム探求、会話とドラマ分析による研究（ジェンダー、ポライトネス）、日仏対照語用論の分野での論文、発表多数。
- 日本滞在を経て学習者の相互行為参与の形がどう変わったか —マルチモーダルの分析(AJE, 2016年), *Analyse des particules interactionnelles du point de vue du genre à travers les feuilletons et films japonais des années 60 à nos jours*. (2016, Japan pluriel, 2018) など。
- テスト開発・評価に関する発表論文に Developing a Japanese Language Test for a Multilingual Online Assessment System: Towards an Action-oriented Approach to Japanese Instruction in Europe (ALTE, 2017 共著)など。
- 日本語教材に、*Parlons japonais A1* (PUG 1887年初版、最新改訂版 2016年共著)など。